

本日は、この間もお話をさせて頂きましたが「何が真実か」という話をします。

私たちは日々、目や耳に入ってきたものが真実であると勘違いし、一喜一憂してしまいがちです。

本当に大切な事は、妙智會でいいますと「靈的な目」で見る事があります。人というのは平常心を保ち続ける事は難しいですが、平常心を保つ事はとても大切な事なのです。それには、お経をしっかりとあげる事、そして振り返る事が大切であります。

靈的な目で見える事によって、平常心を保つ事が出来て、人間関係も含めていろんな事の本当の姿が分かるようになってきます。

ですので、信者さんに指導する時は靈的な目や耳や口を持ってさせて頂かないと、結果が出ないのです。

是非そういう感情的なものを捨てて、何があっても平常心で日々生きて頂きたくお願い致します。そうする事によって、何が正しく、何が真実かというのが見えてきます。

そしてもう一つ大切な事は、妙智會の修行の一つであります「願ほどき」です。

願ほどきをしっかりと行わないと、正しい靈的な目や耳や口を持つ事が出来ないのです。

また、正しい指導も出来なくなるのです。

改めてご自身の長年願をかけてきたもの、短期間でも必死で願をかけてものは、しっかりとほどこ様にして下さい。

願かけの一つの例として、腹帯もそうです。

「良い子に生まれますように」と願をかけてしまっています。

ですので、感謝して無事に産まれましたと、ほどこいていく事が大事です。

今の時点でも、されていなかった方がいらっしゃいましたら、当時の腹帯を含めたその子の為に掛けた願、自分も含め両親も周りも含め、更に安産祈願をして頂いたお寺や神社など、かけたものにはしっかりとほどこいて下さい。

更に妙智會では、先祖がかけた分と共に、流産児に対する願ほども忘れずにさせて頂く事もとても重要です。

そうさせて頂く事によって、目に見えないものが分かるようになり、自分自身が変わってくるのです。ここは、しっかりと受け止めて頂きたいです。

霊的な目で物事を見る為の修行が、願ほどもです。